



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月8日

上場会社名 株式会社プラザクリエイイト本社 上場取引所 東
 コード番号 7502 URL <http://www.plazacreate.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大島 康広
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営本部長 (氏名) 中村 守宏 TEL 03-3532-8812
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有 金融機関向け

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	8,619	△14.8	△470	—	△476	—	△520	—
2022年3月期第2四半期	10,120	15.5	△251	—	△162	—	△201	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 △561百万円 (—%) 2022年3月期第2四半期 △219百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	△42.84	—
2022年3月期第2四半期	△16.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	11,523	1,999	17.4	164.67
2022年3月期	12,129	2,682	22.1	220.90

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 1,999百万円 2022年3月期 2,682百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	1.3	150	29.5	250	1.0	150	24.2	12.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	13,836,258株	2022年3月期	13,836,258株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	1,693,001株	2022年3月期	1,693,001株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	12,143,257株	2022年3月期2Q	12,339,557株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想値と異なる結果となる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、まん延防止等重点措置の解除により、3年ぶりに行動制限のないゴールデンウィークや夏休みとなりました。一方、長期化するウクライナ情勢や、急速な円安による物価上昇・原材料価格の高騰等により、経済の先行きは不透明な状況にあります。

このような事業環境において、当社グループは引き続き、モバイル事業の継続的成長と、パレットプラザをはじめとしたイメージング事業の新たな収益の柱となる事業の創造に積極的に取り組んで参りました。

モバイル事業におきましては、オンライン販売を通じた格安プランの台頭など事業環境は大きく変化しており、そのような中で「SoftBank」ブランドと「Y!mobile」ブランドのそれぞれの特長とお客さまのニーズに照らし合わせて料金プランをご案内することで、お客さまの多様なニーズに対応してまいりました。

「Y!mobile」ブランドへの移行を希望されるお客さまが前第1四半期連結会計期間に殺到したこと、円安等の影響により主力のスマートフォンの販売価格の値上げにより前第2四半期連結累計期間と比べるとスマートフォンの販売台数が減少したことに併せ、通信キャリアの支払条件の見直しにより販売インセンティブ手数料が減少したことにより、契約1件当たりの利益率は減少しております。

また、店舗外での販売イベントを積極的に実施した結果、イベント場所の使用料金および派遣スタッフ費用が増加しました。

一方で、実店舗の強みを生かした新たな取り組みとして、スマートフォンの設定などに不安のあるお客さまを対象にした店頭サポートの定額サービスを開始いたしました。

なお、当第2四半期連結累計期間末における店舗数は、103店舗となっております（前連結会計年度末109店舗、前第2四半期連結累計期間末109店舗）。

デジタルデバイスや周辺ソリューションへの企業ニーズが高まってきていることから、法人営業部門の人員を拡充し、当社の店舗に来店される法人顧客に対しましては、端末の販売に加え、企業のDX推進をサポートしてまいりました。

以上の結果、モバイル事業の業績は、減収、減益となりました。

イメージング事業におきましては、iPhone修理の「アイサポ」を展開する株式会社ギア（本社：東京都新宿区）と提携して、「パレットプラザ」内でスマホ修理サービスをスタートしており、2023年3月までにパレットプラザ100店舗で同サービスを実施することを目指しており、当第2四半期連結累計期間末までに30店舗で同サービスを開始しております。

なお、パレットプラザの店舗数は、当第2四半期連結累計期間末には、フランチャイズ店舗225店、直営店舗13店となりました（前連結会計年度末フランチャイズ店舗239店、直営店舗は8店、前第2四半期連結累計期間末フランチャイズ店舗258店、直営店舗は8店）。

新たなお客様との接点を増やす方法として、ポップアップストア専門部署を設置して、開催場所の選定から運営まで行える体制を整え、『つくるんです®』の知名度とブランド認知向上に努めました。

“オンライン会議のための個室空間” パーソナル・ミーティング・ボックス「One-Bo（ワンボ）」の販売実績は、好調に推移しています。引き続き販売体制と製品増産体制の構築を強化してまいります。

新たな収益の柱となるグランピング事業およびアパレル事業の開発にコストを要したため、イメージング事業の業績は、減収、減益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、86億19百万円（前年同期比14.8%減）となり、営業損失4億70百万円（前年同期：営業損失2億51百万円）、経常損失4億76百万円（前年同期：経常損失1億62百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失5億20百万円（前年同期：親会社株主に帰属する四半期純損失2億1百万円）となりました。

当第2四半期連結累計期間のセグメント別における概況と業績は次のとおりであります。

①イメージング事業

当第2四半期連結累計期間のイメージング事業においては、新規事業開発コストを計上したことなどから、売上高は14億40百万円（前年同期比17.9%減）、セグメント損益は3億32百万円の損失（前年同期：3億6百万円の損失）となりました。

②モバイル事業

当第2四半期連結累計期間のモバイル事業においては、前第1四半期連結会計期間の新料金プラン移行からの反動及び、販売インセンティブ手数料が減少などにより、売上高は71億78百万円（前年同期比14.2%減）、一方のセグメント損失は2億28百万円（前年同期比：33百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産の額は115億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億6百万円の減少となりました。主な要因は、現金及び預金が5億61百万円増加し、受取手形及び買掛金が6億30百万円、商品及び製品が3億32百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債の額は95億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ76百万円の増加となりました。主な要因は、長期借入金が3億44百万円増加し、短期借入金が1億98百万円、支払手形及び買掛金が66百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産の額は19億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億82百万円の減少となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失5億20百万円、剰余金の配当1億21百万円などにより利益剰余金が6億41百万円減少したことなどによるものであります。また、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末の22.1%から17.4%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ5億61百万円増加し、19億68百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ収入が8億44百万円増加し8億12百万円の収入（前年同期 31百万円の支出）となりました。主な要因は、売上債権の増減による収入の増加5億49百万円、棚卸資産の増減による収入の増加2億1百万円によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ支出が2億23百万円減少し2億11百万円の支出（前年同期 4億35百万円の支出）となりました。主な要因は、事業譲受による支出の減少3億14百万円、無形固定資産の取得による支出の減少44百万円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ収入が2億49百万円減少し44百万円の支出（前年同期 2億5百万円の収入）となりました。主な要因は、短期借入金の純増減額による収入の減少7億20百万円、長期借入れによる収入の増加4億円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月13日に公表いたしました連結業績予想の現時点における修正はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,406,497	1,968,248
受取手形及び売掛金	2,121,121	1,490,542
商品及び製品	2,369,040	2,036,066
原材料及び貯蔵品	105,548	197,020
その他	1,076,976	801,726
貸倒引当金	△10,590	△18,237
流動資産合計	7,068,593	6,475,367
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,313,549	2,268,561
減価償却累計額	△1,072,567	△1,087,596
建物及び構築物（純額）	1,240,981	1,180,964
機械装置及び運搬具	703,560	685,633
減価償却累計額	△694,710	△671,908
機械装置及び運搬具（純額）	8,849	13,724
土地	1,511,248	1,511,248
リース資産	1,183,367	1,238,860
減価償却累計額	△1,144,033	△1,130,553
リース資産（純額）	39,333	108,307
その他	744,865	833,565
減価償却累計額	△556,069	△558,098
その他（純額）	188,796	275,467
有形固定資産合計	2,989,210	3,089,712
無形固定資産		
のれん	263,596	230,021
リース資産	52	38
その他	168,630	165,767
無形固定資産合計	432,280	395,827
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,379,898	1,330,726
その他	271,436	243,700
貸倒引当金	△12,290	△12,290
投資その他の資産合計	1,639,045	1,562,136
固定資産合計	5,060,536	5,047,676
資産合計	12,129,130	11,523,043

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,489,251	1,422,767
短期借入金	3,188,750	2,990,618
リース債務	123,949	94,869
未払法人税等	6,226	3,113
賞与引当金	139,347	124,561
その他	647,119	656,959
流動負債合計	5,594,645	5,292,890
固定負債		
長期借入金	3,362,796	3,707,394
リース債務	52,729	96,093
資産除去債務	174,439	167,000
退職給付に係る負債	37,680	37,680
長期預り保証金	186,171	184,277
その他	38,218	38,031
固定負債合計	3,852,036	4,230,477
負債合計	9,446,681	9,523,368
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,228,496	1,228,496
利益剰余金	1,914,109	1,272,497
自己株式	△582,698	△582,698
株主資本合計	2,659,906	2,018,294
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,541	△18,619
その他の包括利益累計額合計	22,541	△18,619
純資産合計	2,682,448	1,999,675
負債純資産合計	12,129,130	11,523,043

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	10,120,918	8,619,561
売上原価	6,869,655	5,771,746
売上総利益	3,251,262	2,847,815
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	387,192	345,376
給料手当及び賞与	1,195,118	1,075,495
賞与引当金繰入額	137,004	123,724
雑給	126,010	72,038
賃借料	479,272	464,914
貸倒引当金繰入額	—	7,647
支払手数料	639,415	682,020
のれん償却額	19,665	33,575
その他	519,182	513,164
販売費及び一般管理費合計	3,502,863	3,317,956
営業損失(△)	△251,601	△470,141
営業外収益		
受取利息及び配当金	750	2,054
協賛金収入	12,377	6,157
償却債権取立益	12,600	2,300
助成金収入	61,147	897
その他	32,832	19,505
営業外収益合計	119,707	30,915
営業外費用		
支払利息	29,117	28,256
その他	1,314	8,669
営業外費用合計	30,431	36,925
経常損失(△)	△162,324	△476,151
特別利益		
固定資産売却益	117	1,506
投資有価証券売却益	—	5,709
特別利益合計	117	7,216
特別損失		
減損損失	24,380	35,776
店舗閉鎖損失	12,171	3,616
解約違約金	—	9,000
特別損失合計	36,551	48,392
税金等調整前四半期純損失(△)	△198,758	△517,328
法人税、住民税及び事業税	4,906	3,113
法人税等調整額	△2,285	△261
法人税等合計	2,621	2,851
四半期純損失(△)	△201,379	△520,179
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△201,379	△520,179

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純損失(△)	△201,379	△520,179
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17,808	△41,160
その他の包括利益合計	△17,808	△41,160
四半期包括利益	△219,187	△561,340
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△219,187	△561,340
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△198,758	△517,328
減価償却費	145,037	127,802
減損損失	24,380	35,776
のれん償却額	19,665	33,575
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△6,032	—
受取利息及び受取配当金	△750	△2,054
支払利息	29,117	28,256
固定資産売却損益(△は益)	△117	542
助成金収入	△61,147	△897
売上債権の増減額(△は増加)	81,255	630,578
棚卸資産の増減額(△は増加)	40,498	241,501
仕入債務の増減額(△は減少)	△50,857	△66,484
その他	△77,280	333,374
小計	△54,989	844,641
利息及び配当金の受取額	750	2,054
利息の支払額	△28,661	△28,905
助成金の受取額	61,147	897
法人税等の支払額	△9,805	△6,226
営業活動によるキャッシュ・フロー	△31,558	812,462
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△155,790	△158,045
有形固定資産の売却による収入	7,499	10,391
無形固定資産の取得による支出	△52,625	△8,032
事業譲受による支出	△314,495	—
その他	80,373	△56,034
投資活動によるキャッシュ・フロー	△435,038	△211,722
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	400,000	△320,000
長期借入れによる収入	800,000	1,200,000
長期借入金の返済による支出	△750,694	△733,534
配当金の支払額	△147,775	△121,215
リース債務の返済による支出	△96,227	△69,420
財務活動によるキャッシュ・フロー	205,303	△44,169
現金及び現金同等物に係る換算差額	569	5,180
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△260,724	561,750
現金及び現金同等物の期首残高	1,698,542	1,406,497
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,437,818	1,968,248

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	イメージング 事業	モバイル事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	1,754,566	8,366,351	10,120,918	10,120,918	—	10,120,918
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,754,566	8,366,351	10,120,918	10,120,918	—	10,120,918
セグメント利益又は損失(△)	△306,422	33,547	△272,875	△272,875	21,274	△251,601

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額21,274千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△173,215千円及び当社とセグメントとの内部取引消去額194,490千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、廃棄を決定した固定資産について帳簿価額を回収可能価額まで減損し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、前第2四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は、「イメージング事業」において5,167千円、「モバイル事業」において19,213千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	イメージング 事業	モバイル事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	1,440,717	7,178,844	8,619,561	8,619,561	—	8,619,561
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,440,717	7,178,844	8,619,561	8,619,561	—	8,619,561
セグメント損失 (△)	△332,360	△228,076	△560,437	△560,437	90,295	△470,141

(注) 1. セグメント損失 (△) の調整額90,295千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△141,604千円及び当社とセグメントとの内部取引消去額231,900千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失 (△) と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、廃棄を決定した固定資産について帳簿価額を回収可能価額まで減損し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当第2四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は、「イメージング事業」において19,122千円、「モバイル事業」において16,654千円であります。